

横手市と蔵書点検ロボットの実証実験に成功

蔵書点検ロボットの実用化へ、開発を加速

横手市（秋田県横手市、市長：高橋 大、以下「横手市」）、株式会社ソフェル（本社：東京都港区、代表取締役：伊賀 亨治、以下「ソフェル」）、金剛株式会社（本社：熊本県熊本市、代表取締役：田中 稔彦、以下「金剛」）、サウスフィールド・マネジメント株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：南野 稔、以下「サウスフィールド」）は、令和3年12月に4者で締結した「蔵書点検ロボット実証実験に関する事業連携協定」に基づき、蔵書点検ロボットの実証実験を横手市雄物川図書館（所在地：秋田県横手市雄物川町今宿鳴田133）で実施しました。この実証実験は、令和4年3月2日から3月9日まで、雄物川図書館のICタグ※1を貼り付けた約2万冊の蔵書に対して行われました。実験の結果につきましては、3月11日に雄物川小学校の3年生、およびメディア関係者に向けて発表しました。

蔵書点検ロボットは、高さ約2メートル、幅約60センチ、本体に6個のアンテナを実装し、電波を発信しながら館内を自動で動き回り、ICタグを貼り付けた蔵書の情報を読み取りました。今回の実験は、令和4年1月にICタグ化(ICタグを蔵書に貼り付け、エンコード作業を実施)した雄物川図書館の図書19,723冊を対象に行いました。ロボットで行った読み取り試験では19,723冊中、19,634冊をロボットが自動認識し、認識率99.5%を達成し、実証実験は成功いたしました。

今後、ソフェル、金剛、サウスフィールドは、実証実験での効果検証を行い、読み取りエラーが発生した0.5%の品質を改善進めていきます。また、蔵書点検ロボットの実用化に向けて、ロボット仕様の確定、価格の設定などを検討いたします。更なるICタグシステムを活用した図書サービスの向上、実用化に向けた取り組みを継続しておこなってまいります。

■実証実験の概要

実験場所：横手市雄物川図書館内

期間：令和4年3月2日から3月9日

実験対象：雄物川図書館 所蔵 19,723冊の書籍

■提携先会社概要

会社名：株式会社ソフェル

所在地：東京都港区港南2-12-23 明産高浜ビル2F

代表者：伊賀 亨治

設立：1979年

事業内容：非接触ICタグ（RFID）を利用したシステムの開発、販売

URL：<http://www.sofel.co.jp/>

会社名：金剛株式会社

所在地：熊本市西区上熊本3-8-1

代表者：田中 稔彦

設立：1947年

事業内容：オフィス・文化施設関連設備の製造販売

URL：<https://www.kongo-corp.co.jp/>

会社名：サウスフィールド・マネジメント株式会社

所在地：神奈川県横浜市戸塚区品濃町525-1

代表者：南野 稔

設立：2014年

事業内容：公共施設マネジメントアドバイザー

URL : <http://sfmgt.co.jp/>

※1. ICタグ：無線通信することにより、離れた所から、その中に保持されている情報を読み取り、書き換えることができます。図書館では、蔵書にICタグを貼付し、ICタグを読み取る各種機器を導入することにより、蔵書の個別認識が自動的にできるようになります。これにより、利用者へのサービス向上、図書館運営業務の効率化を図ります。

■本リリースに関する報道お問い合わせ先

サウスフィールド・マネジメント株式会社 南野(みなみの)

E-mail : minamino@sfmgt.co.jp



ICタグを説明するソフェル伊賀社長



ロボットに触れてみる雄物川小学校3年生



蔵書点検ロボットの説明



実証実験を視察する高橋 大横手市長



蔵書点検ロボットの試作機



ハンディリーダーによる点検

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000005.000092838.html>

サウスフィールド・マネジメント株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/92838

■本リリースに関する報道お問い合わせ先

サウスフィールド・マネジメント(株) 南野(みなみの)

E-mail : minamino@sfmgt.co.jp

Tel: 045-315-4321